

新幹線車両「かもめ」の輸送第2弾！（令和4年3月25日～29日）

令和4年1月に初めて行われた新幹線車両「かもめ」の輸送の第2弾が、令和4年3月25日から29日にかけて行われました。



輸送経路図

今回も1編成6両の輸送が行われ、輸送ルートも前回と同じ、製作が行われた山口県下松市から長崎県東彼杵郡川棚町にある川棚港までは海上輸送で、川棚港から大村車両基地までは陸上輸送で輸送が行われた。



川棚港での陸揚げの様子



川棚港を出発する様子



東彼杵町役場付近にある歩道橋の下をすれすれで通過する様子



大村市内の桜馬場交差点を曲がる様子

車両の輸送は、今回も報道関係以外へは非公表であったにもかかわらず、輸送途中の川棚港や、川棚港から大村車両基地までの沿道などには、新幹線車両を一目見ようと多くの人がかかけつけ、輸送の様子を見守った。



大村車両基地の出入り口付近輸送を見守る様子



大村車両基地へ搬入される様子

これで搬入が予定されている4編成のうち2編成が搬入されたこととなります。

大村車両基地に搬入された車両は、組み立てや整備が行われたのち、走行試験のため、令和4年5月10日に初めて本線上を走行する予定となっています。（走行試験は、令和4年5月10日から6月16日までの期間の中で、延べ15日程度行われる予定です。）